

鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二〇八号

2019.7.8
責任者
平田 渉

小田原・足柄下地区 中学校総合体育大会 総合開会式

II 学校紹介 II

小田原アリーナで開催された総合開会式において、三年さんが、真鶴中学校について、次のように紹介しました。

こんにちは、真鶴中学校です。真鶴中学校は、自然に囲まれた環境にあります。全校生徒が一六人と少ないですが、どの部活も元気に活動しています。真鶴中学校は「あいさつ」を大切にしています。「あいさつ」は縦の関係の先輩や後輩、横の関係の友だちだけではなく、地域の人のための関係をつくることができます。また、真鶴町の行事やボランティア

シアにも積極的に参加をしています。特に真鶴駅前の清掃活動は、真鶴中学校の伝統となっていてJRの方から賞をいただいたこともあります。

そして、中学校の行事には、毎回たくさんさんの保護者や地域の方々が参加してくださり、応援をしてくれます。そのことに私たちが感謝をしています。

地域の方々、先生方、仲間がいてくれたからこそまで部活を続けることができました。だからこそ、勝ちだけにこだわらず感謝の気持ちをもちながら夏の大会に臨みたいと思います。

II シンボルマーク II

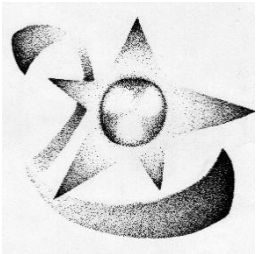
大会シンボルマークに選ばれた作品について、三年さんが、マークに込められた思いを次のように発表しました。

こんにちは、真鶴中学校です。このシンボルマークにこめた思いをお話します。まず中央のうずまきのような球体は、大会に参加する生徒の皆さんが、仲間と協力して、力を合わせているようすを表しました。

その周りにある矢印のようなものは、人を表していて、長さが異なるのは、一人一人の個性は違うけれど、球体と合わせることで一つの星のようになることを示しています。

左側にあるのはゴールテープです。

この大会で最後まで一生懸命取り組むことで、みんながゴールテープを切り、そして星のように輝く瞬間が来ることをあらわしています。



その瞬間まであきらめず頑張りましょう。応援しています。

部活動激励会

II 各部の意気込み II

女子ソフトテニス部

ソフトテニス部は私たち部員二人で練習を重ねてきました。そしてこの二人で立つ最後の大会となってしまうかもしれません。できるだけ長くコートに立ち、自分たちらしいプレーをしたいと思っています。応援よろしくお願ひします。

野球部

野球部は、三年生が四人だけ人数が少ないため、実践的な練習はほとんどできません。しかし、バッティングや守備練習などは人数の多い学校よりもたくさん繰り返し返してきたという自信があります。

できないことを悲しむのではなく、自分たちがやってきたことに自信をもち、全力で戦ってきます。

女子バレーボール部

私たちは三年生二人、二年生八人、一年生二人の計十二人で活動しています。

この大会で二日目まで勝ち残ることを目標とし、「百花繚乱」「切

磋琢磨」を掲げ日々練習に取り組んできました。大会では練習でやってきたことを出し切り、自分たちらしいプレーしていきたいと思えます。

女子バスケットボール部

私たちは三年生三人、一年生九人の計十二人で活動しています。昨年の夏から函嶺白百合学園と合同チームで試合に出場しています。「応援されるチーム」「悔いの残らない試合にしよう」という目標に向かって日々練習しています。目標に向かって最後まで戦い抜きます。応援よろしくお願いします。

私たちが三年生九人、二年生六人、一年生四人の計十九人で、「みんなに音を 世界に響きを」をテーマに活動しています。

吹奏楽部

今年のコンクールでも本番七分間という短い時間の中で一音一音を大切に演奏するために練習しています。こうして練習し、成果を積み重ねていく過程に意味があると考えています。

本番まで残り一か月、自分たちの演奏に磨きをかけ成長するため頑張っていきたいと思えます。

サッカー部

私たちは三年生九人、二年生二人、一年生九人の計二十人で活動しています。

このメンバーで活動できる最後の大会となりますが、県西ブロック大会出場を目標に練習に取り組んでいます。応援よろしくお願いします。

校外学習ふりかえり

Ⅱ 三年 修学旅行 Ⅱ

歴史的な建築物を近くでみるのができたことが心に残りました。

奈良の東大寺南大門、京都の金閣寺、清水寺、三十三間堂など、昔の人の建築技術はすばらしいなあと思うのと同時に日本の「和」を感じることができました。



奈良・京都の伝統文化に触れたり、体験したりして、改めて真鶴町のよさ・文化を大事にしたいなあと思えました。国宝などをみんなで守

つていこうという町全体の雰囲気が残っています。

京都の見学地では、日本人だけでなく外国の方々にも和の心を感じてもらえるように工夫されています。びっくりしました。日本語、ハンブル、英語、中国語のおみくじがあったり、順路をわかりやすく示したり；、また、ごみ一つ落ちてなくきれいに管理されていたり；。人々が京都を何度も訪れることについてわかった気がします。

班別自主見学のときに、寺社仏閣などの伝統的なところと、四条河原町や京都駅などの近代的なところを回り、京都のすごさを感じました。伝統だけにこだわるのではなく、新しい試みもたくさんありました。真鶴町もそんな町にしていきたいと思えます。

Ⅱ 二年 鎌倉校外学習 Ⅱ

鎌倉校外学習に行く前は不安でいっぱいでしたが、無事に行き帰ってこれてよかったです。途中、道が難しく周りにいた人に聞いたりしましたが、優しく教えてくださり、

鎌倉の人のよさを感じました。

鎌倉校外学習のコースを決めているときは、迷ったりしないか、時間どおりに行動できるか不安でしたが、行ってみると迷うことはありませんでした。事前にはっきりと調べていたからだと思えます。来年の修学旅行がさらに楽しみにになりました。

Ⅱ 一年 真鶴を知ろう Ⅱ

今回の活動で、真鶴を詳しく知ることができてよかったです。ガイドの方には、貴船神社のこと、お林遊歩道の植物のことなど詳しく教えてもらいました。今後また皆さんのことを知りたいです。

校外学習では美の町コースについて、たくさんのお話を学びました。特に心に残っているのは西仲商店街です。昔は百軒ほどのお店が並んでいたのに、今は二軒だけになってしまったそうです。

今回学んだことを生かしていきたいです。

